

2017 年度 実習・実技等の取組状況

理学療法学科 臨床実習

名称	時期/期間 単位	目的 目標
臨床実習Ⅰ	2 年 8 月	医療人を志すにふさわしい自主性、積極性、社会性を養うとともに、疾患に対する知識を深める。 具体的目標： 1. 1 年次・2 年次前期に履修した専門基礎科目・専門科目の習熟度を確認する。 2. 疾患・病態に対するイメージを臨床現場において自己の目で観察・確認する。 3. リスク管理に対する意識を養うとともに衛生・安全面に配慮できるようにする。 4. 患者様の接遇および守秘義務等医療人としての倫理観について学ぶ。 5. 医療機関・施設の機能・役割を確認する。 6. 各医療職の役割とチームワークを確認する。 7. 自主性・社会性を向上させると共に、社会人たる良識を身につける。 8. 理学療法士を目指す目的意識を一層強固なものにする。 9. 医療人として不可欠な「相手を思いやる気持ち」・「慈しみの心」を身につける。
	1 週間	
	45 時間 1 単位	
臨床実習Ⅱ	3 年 1~2 月	各疾患において用いられる評価を経験し、評価技術を身に付けるとともに各評価の意義を学ぶ。クリニカル・クラークシップの「見学・模倣・実施」の段階を踏みながら診療参加を経験する。 具体的目標： 【実習全般を通じて】 1. ソーシャルスキル 社会人、実習生としてのソーシャルスキルが備わっている。 2. 認知スキル 理学療法実習生としての認知スキルが備わっている。 【理学療法評価に際して】 1. 情報収集 (1)対象者の疾患と治療の概要を理解することができる。 (2)担当症例特有の症状とそれに対する医学的治療方針もしくは支援方針を理解することができる。 2. 面接、観察、検査、測定の見学・模倣・実施 (1)必要な項目を想起し、列挙することができる。 (2)見学→模倣（一部は実施）を通じ理学療法的思考を想起することができる。
	4 週間	
	180 時間 3 単位	

臨床実習Ⅲ	4 年 5～9 月	クリニカル・クラークシップの「見学・模倣・実施」の段階を踏みながら、指導者の担当する多数の患者の治療場面に横断的、断片的に診療参加する。
	8 週間 ×2 回	
	720 時間 16 単位	具体的目標 【実習全般を通じて】 1. ソーシャルスキル（情意領域） 社会人、理学療法実習生としてのソーシャルスキルが備わっている。 2. 認知スキル（認知領域） 理学療法学科 4 年次実習生としての認知スキルが備わっている。 【理学療法評価および治療的介入に際して】 1. 情報収集（精神運動領域） (1)対象者の疾患と治療の概要を理解することができる。 (2)担当症例特有の症状とそれに対する医学的治療方針もしくは支援方針を理解することができる。 2. 面接、観察、検査、測定の見学・模倣・実施（精神運動領域） (1)必要な面接、観察、検査、測定の項目を想起し、列挙することができる。 (2)クリニカル・クラークシップの実習形態において、診療参加を行いながら、見学→模倣→実施を通じ、理学療法学的思考を想起することができる。 3. 記録（情意領域） 得られた情報や検査・測定の結果を正確に記録し、思考を整理できる。（部分的でも可） 4. 分析・統合・解釈（認知領域） (1)得られた情報や検査・測定の結果を基に問題点を列挙する。 (2)問題点を整理する。 5. 対象者に即した目標設定（認知領域） (1)対象者の問題解決への道筋を考えることができる。 (2)中長期的な目標を設定する。 (3)短期的な目標を設定する。 6. 対象者に即した治療計画の立案（認知領域） (1)必要な治療や指導を列挙する。 (2)実施する治療計画を具体的に立案する。 7. 対象者に即した治療的介入、理学療法の提供とその経過（精神運動領域） (1)立案した治療計画を実施する。（部分的でも可） (2)実施内容および経過を記録する。（部分的でも可） (3)必要に応じて治療計画の調整や変更を行うことができる。 (4)理学療法の効果判定を行う。
合計	945 時間 21 単位	